Ж

九月二十日~二十六日毎朝六時~七時

彼岸早朝坐禅会ございます。

伊庭末雄さんの民謡とみんなで盆踊り

御参加お待ちしております

-七時十五分

バルーンショー

十八時

フラメンコ

エルムンドと仲間たち

川崎祭り囃子保存会

山藤流・子供たちによる日本舞踊



54 令和5年秋彼岸号

高井正俊 高井和正

のお彼岸を迎えます。 世 俊諦和尚 御先祖様に手を合わせると、 臨 済 宗 建長寺派 職 住 弟 羽村市川崎2-8-20 TEL 042-554-1276 FAX 042-578-3525

)十四時四十分~ ·十九時終了予定 雨天決行

是非、皆様でお越しいただき、お薬師様の功徳をお持ち帰り下さい。

コロナで休止していました薬師如来の大祭を四年ぶりに開催致します。

今ここに生かされて

() 秋

る自分が現れます。

暑い夏が終わると、

十四時四十分 十五時半 奉 川崎太鼓保存会 舞 台 御詠歌奉詠 ※奉納演目と時間はおおまかな目安です 十五時 南京玉すだれ 薬師堂にて祈願法要・百万遍数珠回

焼きそば 焼鳥 けんちん汁 ジュース ポップコ





200円 100円 100円

無料 無料 無料

【お祭りの手作り屋台】

名物タイ焼き

(宗禅寺薬師 堂 <mark>∭</mark> 崎 本木

6, お堂でした。 着いた一本の大木から建立されたことか り多くの被害が出た折、 江戸時代に開創したお寺の歴史より 間 古いものになります。多摩川の洪水によ 宗禅寺境内にある薬師堂は天正 川崎の一本木堂と呼ばれ、 室町時代)の再建との伝承があり 洪水にて流れ 村持ちの

さったものになります。 助 檀信徒であり、 様のお声を汲んで下さった地 盗難に遭ってしまいましたが、 氏が 古くからの薬師如来像は明 念勃起しご奉仕にて彫って 彫刻家であった島 元 地域 治時 川 田 の皆 崎 改

「新漂流都市」ご報告水族館劇場宗禅寺公演

本年五月十七日から六月六日まで、劇団水族館劇場による公演が第二駐車場にている劇団です。本年の公演にて羽村で三ている劇団です。本年の公演にて羽村で三ている劇団です。本年の公演にて羽村で三年目を迎えました。

昨年、劇団の創設者であり座長であった桃山邑さんが突然の病にてご逝去された中、劇団員の皆様は劇団の継続を選択し、中、劇団員の皆様は劇団の継続を選択し、中、劇団員の皆様は劇団の継続を選択し、中、劇団の創設者であり座長であった

た。 人を超える皆様のご観劇をいただきまし 大胆に水を使う演出も健在で、延べ七百

も活発に開催され、多くの皆様が楽しんで生にて開催されるなど、付帯した文化行事を音楽バンド「渋さ知らズ」のライブが本また、旧縁から今回の劇に音楽を提供し

下さいました。

後述の通り、羽村での公演はここでひとまず終わりとなりますが、ここに記録として記載させていただきます。また、お正月の宗禅寺境内での路上芝居は継続して下の宗禅寺境内での路上芝居は継続して下ます。



▲「羽村、福生の皆様、ありがとうございました」

【水族館劇場特別行事記録】

○クラウンパレードIN羽村 5/21

○映画「典座 (てんぞ)」上映会 5/22

○「渋さ知らズ」ライブ 5/27

〇寺山修司のシンポジウム

の歌』発刊記念。
『寺山 修司 母の歌、斧の歌そして父作家伊藤裕作氏主催。お寺の客殿にて。

ることになりました。

鎌倉での出会いから水族館がやってく伊藤裕作さんは仏教も勉強されており、

○水族館坐禅会

いただきました。

●他に、特設劇場横にて、古本市と黒田康

場とみんなの家を元の姿にて返して下さ 三ヶ月間住み込んでの劇場建て込み、 日、皆様でお寺にご挨拶に来て下さり、駐車 に帰られました。ありがとうございました。 駐車場の草引きをしてから自分のお家 解体の作業を続けました。六月二十四 団員の皆様は三月末から六月末まで、

夫氏の劇

団の写真展が開催されました。



▲手作りの劇場。 適切な演出方法をみんなで探ります。

水族館劇場 本年を以って休止となります 宗禅寺公演

情もあり、本年の公演を以って、一旦休止 から場所を提供することを決め、結果とし て公演先を失っていた水族館さんに諸 となりましたことをご報告申し上げます。 族館劇場さんでしたが、ご近所様からの陳 を設営して公演をしておりました劇団 寺は文化の発信地の下、 お寺の裏の第二駐車場に自ら特設劇 コロナ禍にあっ 場

▲劇の最後は全員での合唱。歌のお稽古はお寺の本堂で行いまし



▲6月 24日。駐車場のゴミ拾いと草引きを終えて、劇団皆様で お寺にご挨拶。またお正月にお会いします。

こともできましたが、やはり住宅街の中に かけしてしまった部分がありました。 あっては、ご近所様方に大きなご迷惑をお 時開催し、多くの方に仏教体験を提供する 演の期間中、昨年からはお寺で坐禅会も同 て三年の間公演が続いてまいりました。公

感じていると共に、お世話になりましたご 次第です。三年間、 近所の皆様方にも深く感謝を申し上げる を続けることができたことへの有難さを 劇団もお寺も、三年という長い間、 誠にありがとうござい 公演

水族館劇場 寄稿文

3年間の感謝



水族館劇場 秋浜立

す。 が高井正俊和尚でした。私達は野外でテ 行っていた私達は、 三年間、 ていました。手を差し伸べて下さったの となり、にっちもさっちもいかなくなっ にお世話になり、 の本公演は今回が最後となります。この 流 ても仮設足場で組み上げる巨大なもので ント芝居をするわけですが、テントといっ 『都市』を無事に終えました。宗禅寺で 思い返すと四年前、 今年の春、 日常にはない、なかなか異様な構造 お寺の関係者皆様、 水族館劇場は本公演 深く感謝いたします。 コロナで公演が中止 別の場所で芝居を 近隣の方々 『新漂

物だと自負しますが、

宗禅寺駐車場にテ

思います。

桃山 ら桃山は次の芝居の準備をしました。 せんし、 した。「桃山邑に捧ぐ」芝居。全国からた それに応えるべく今回の本公演はありま 去った桃山ですが、 すらい姉妹公演『むすんでひらいて』が 書き上げ、 間たち』も作られました。 頂いたアンソロジー『桃山邑と愉快な仲 の道』や、 Ш 守って頂きました。ありがとうございま しょう。それでもこの三年間 しれません。ご迷惑もおかけしたことで ほしい、というのが生前の意志でした。 去年亡くなりました。 しょう。行雲流水。水族館劇場の本願です。 ますが、流浪することは芝居者の宿命で した。来年は別の場所を求めてさすらい この三年間、 .が来し方を語った冊子『河原者のけも その水族館劇場を率いてきた桃山邑が ・最後の台本の舞台でした。この世を よいことだけではなかったかも 宗禅寺の皆様にもご寄稿して 今年のお正月、 何か残せたのかもしれま 水族館劇場を続けて 闘病生活をしなが 宗禅寺でのさ 病床で台本を 私達を見 桃

人のご協力で成り立った芝居でした。の皆様にも多大なご協力を頂きました。多くの古本市やクラウンパレードなど様々なイ古本市やクラウンパレードなど様々なイ

ます。 見つかるまで本公演は未定ですが、 これからもよろしくお願いいたします。 お正月にはさすらい姉妹で宗禅寺を訪れ 芝居のさすらい姉妹は続けます。 当にありがたいことです。新しい場所 せて頂けることになりました。これも本 が、次に進みます。資材は宗禅寺に置か お寺での稽古……本当に名残惜しいです 山々、そしてお墓。 宗禅寺駐車場から見える羽村の青空 面白い芝居を作っていきたいです。 みんなの家での生活。 来年 路上 0



修行劇場



水族館劇場劇団員 松林彩

た。 頭を失い心細く、どうやって芝居を続け にお芝居を観ていただくことができまし 託してくれていたので、今年もみなさん ていけるものだろうと右往左往していま したが、 昨年、 桃山がたくさんの方々に大事を 座長の桃山が亡くなり、 私は船

さんに大変感謝しています。 所を預けて下さった、宗禅寺と町のみな 劇場が芝居をあきらめずに続けられる場 価 などが行われているのをみて、 対策を講じながらも盆踊りや野外フェス れていましたが、三年を経て今年の夏は、 の最初のときで、あらゆる集会が控えら [値観が大きく変化した時期に、 はじめて羽村を訪れた頃は、コロナ禍 世の中の 水族館

り

会をいただきました。 りの心持ちに似ているかもしれません。 で何度か通いました。ちょっとお風呂上 ると気分がスッキリして気持ちがいいの なことをまっすぐにしていきます。終 お寺に逗留している間、坐禅をする機 呼吸を整える、というようにいろん 背筋を伸ばして座

禅中に心の中に次々と沸き出しては過ぎ しみに飲み込まれ、人を攻撃したりして が起こります。場合によっては怒りや悲 と思いますが、現場ではさまざまな問題 でも一度は、なんとかなる、と思えるの ちつくのですが、やがて消えていきます。 リして、なんとかなるような気がして落 去っていきます。終わると一時はスッキ しまいます。こういう事の悔やみが、 消えてしまいます。どんなところも同じ しかし、このスッキリはしばらくして 坐

じめたり、人に相談してみようと思えた ところと似ているよ。」とおっしゃいまし きに、「懐かしいね。ここは修行していた です。こう思えると、解決方法を考えは 和尚さんが私たちの楽屋に来られたと 前向きな感じになっていけます。 から、 どうもありがとうございました。 かでお会いできる事を願います

ば、 なのではないか。 笑ってしまったのですが、言われてみれ んの道場に似ているとはとても思えず がっているようなうちの楽屋が、お坊さ た。芝居の道具が散乱し、時には人も転 芝居をする場所をつくることは修行

芝居は今年でおしまいですが、またどこ 問いと似ていると思えます。わからない 生前、桃山がよく言っていたことです。 なんのために生きているのか、という なんのために芝居をするのか。 続けてみます。宗禅寺でのテント



リアルてらこや 活動の御報告

三年目を迎えたリアルてらこや

らいむぎハウスボランティアスタッフ

と感じます。 居場所としても、 顔があふれ、 ました。 般若心経を読経し三日 あ ました。三日間で子供たちは延べ約二百 アルてらこや夏休みスペシャル」を開 るリアルてらこやは、八月七日~九日 ŋ 宗禅寺で毎月第二土曜 ボランティアも延べ五十 最後は和 境内のあちこちで子供たちの 子供 発足時から知るメンバー 尚 年 のみならず大人たちの の ・々進化し続けてい 指 間 導 で、 0 日に開催してい 行程を終了 はせひら耕三 子供も親 人の 参加 _ 1] 笑 が

▲流しそうめん 夏休みスペシャルということで、 境内で流しそうめんを致しました。

やの 来の姿について僕の思うところを書 ていただきます。 て、 活 発足三年 動を振り返るとともに、 目を迎えたリアルてらこ 今後 か の



▲おにぎり 自分達でおにぎりを作っています。 食べるだけでなく、 好きな子は料理も覚えます。

がうち 0 0 場を作りたい。」と立ち上がったのが かけです。 たちが安心して勉強したり学んだりする の笑顔がどんどんなくなっている。 水嶋恵子さんが、 ハウスの代表であり教育現場をよく知 学習の場を作り活動してきたことから 仲間 発足のきっかけは、 だっつ 0 五 僕のところには当時 た水野義裕さんを通じて、 神 東町内会で、 「コロナ禍等で子供たち 年 前 地 地域で同 羽村 らい きっ 子供 市 む 僕 ぎ 議

> う宣伝するか等」 活動だし、 して後で知る和尚 と答えました。 したが、相談を受けた僕は、 所 め 可 を確信しました。 れるかもしれません は ました。 能かどうか そして、 スタッフは集まるか、 「コロ 何とかなるんちゃうかな!」 お寺という抜 無責任な解答のように思 緒に相 ナ禍で活動は可能 課題はたくさんあり 0 柄 が、 談することから始 群 地 水嶋さんの 「素晴らし 予 域性に成 0) 環境、 算は、 そ ど 情 ま 場 功

でき、ボランティアもそろい、 事だと考えていました。 のセンスあふれるビラ・ いになったこともあり、 ○人ぐらいだった生徒数が六○○人ぐら 羽村で塾の校長をしてきた時も、 ミンサミット」等、ネーミングは得意です。 称 んの絶大なご理解で産声を上げました。 いのとびら」「∑コース」「馳プリ」「ムー は僕と印南修太君で考えました。 因 みに、 この 「リアルてらこや」 ポスター そして水鳴さん ネーミングは 宗禅寺さ -などが の 大 名

たちが多かったように思いますが 発 足時には、 学校に居場 新の ない子供

せん。 遊びたいときには遊ぶ。 なっていきました。 や将棋・ も見えるし教わることもあるようです。 ここでは、 に増え、中学生・高校生も勉強しています。 生まれています。 スタッフにまわってくれるなど好循環が 子供たちの笑顔や声もだんだん明るく なく一緒に学んでいるので客観的に自 てわからなかったらみんなで解決する。 け、 自分の勉強したいものを持ってき また他の学年の子供達と話す中で オセロゲーム等で徐々に自 カリキュラムも指示もありま 参加者も回を増すごと 発足時のメンバ 学年・学校関係 [信を] が 分

ます。 もあります。 楽しさを見出している子供たちもいます。 られるだけでなく手伝ったりすることに みにしていますが、 のような活動もしていて子供たちも楽し ちが通える場も作ってほしいという要望 食の大切さも経験してほしいと考えてい ていただきます。てらこやは子ども食堂 今後のリアルてらこやについ また、 羽村にはそうした場所がな 年間通じて不登校の子供た 子供たちはただ与え · て書 か せ

> 主に、 ういう楽しい要素もあることに子供達 ちが多いのですが、 題をこなすことに汲々としている子供 親や学校から与えられる課題も多く、 41 は教えていきたいと考えています るときは目が輝いています。 と楽しんで欲しいと考えています。 ので可能かどうか考えています。 勉強担当ですが、 好きな勉強をして 勉強をもっとも 勉強には 今は 僕は、 課

最後に、てらこやでは、小学生から大



▲客殿 1 学習はお寺の客殿で。元塾講師や元教師の 方が教えて下さいます。

が、 学生まで、 たいと考えています。 と思っています。 悩んだときは、てらこや発足時のように、 す 41 わかってきました。 来ています。 いきたいし、そういう社会を作ってい んなには素晴らしい未来があると伝えて 「なんとかなるんちゃう」と考えて欲し 個性が 場にしたいと考えています。 僕はほぼ子供たちの あります。 時には未就学児も赤ちゃん 学校も学年 人間万事塞翁が馬。 それぞれに素晴らし そんな、 個性 もバラバラです 長所を伸ば ŧ そして、 長所 4 ŧ



▲本堂での閉会式。般若心経を読んで、御本尊様に 感謝のご挨拶。

あ

ŋ 働

っます。

釋迦と自分は同じ働

き

眼

耳

0

き

0)

素晴らしさを発見することで

くのが大事です

鼻舌身意

・六根

を

ていることに気

本法 当要のを 分に出会うために

ļ

住 職 高井正俊

事 うつあります。 Ó が れていました。 コ コ 人数は減りましたが 口 戻りつつあ \Box ーナ下にあっても、 ナ ŧ 通 常 Ď, 0 うれしいことです。 病気とな 皆が元気をとり 葬 儀 り 11 つ は じあり、 社会 ŧ 通 ŧ ŧ り 行 法 平

り を を共に唱えています。 L 入山心得を唱え、 女では 確 の 41 様 宗禅寺では、 いめながら法要をしています。 働 皆さんと共にお経を唱えています。 供 の教えを学び、 も昨年から葬儀 はなく、 養のために原則 きがあるかを確 皆が今、 法要の始めに皆で宗禅 般若心経を唱え、 自分にどん さし かめ、 何 わ 法 をし 事 け Ó て父母恩重 Ď 解ら 亡く 現 7 な素晴 41 場 、なっ にも な る お 0 15 Ĕ か 法 経 た 5 釈

> 分の姿が現れてきます。 経をよみます。読経に集中することによ 心 ここに坐っているだけで力が抜け できます。 現実の 自己が消え、 そこで、 皆さんと一 本 当 0 無 緒に 心 て、 0 安 お

ます。 す 明 (1)考えてみます。 ると同時に、 星 そして、 お釈迦様の 一を見て、 これ 法事で学ぶことは は輝く星の お釈 悟 それ り、 迦 を見ている自 様は 十 二 素晴らしさに 6悟られ 月 八 何 \exists たとい で 0 分のの あ 明 感 け る 眼 動 61 0 か

はずです。

る 返 解 命 7

う繋 ます。 ば、 これ 然と気づい す (2)が、 るのではなく、 ることです。 法事や葬儀は必ず供養する方がおら ここにいることを実感することです。 自分が何 は、 がりをもって、 これは供養する方と自分がどう て欲しい事です。 法事に参 てきます。 をし この 多くの方の繋がりの てい 加して ここにいるか 関 け 係 自 分 ば 素晴らし が 41 くる人、 は 41 つきり 人で生きて 41 0 全員 か を 17 確 を自 す 自

堂やお寺には、

不思議な落ち着きがあり

お 0

預

か

0

7

41

るお遺骨もあります。

本

を代の いられ、

和尚

0

頂

相や位

|脾もあります。

お

祖の方々

お

位

牌

が

あ

ŋ

寺 が

お

寺

Ò

本堂には、

本尊様 0

0

お

釈

泇

様

ると、 授けら されて しをしていくことの大事さに 私たちの (3)かげで自分がい によって支えられ 自分の命は多くの人や物によって生か 自分一人のためでなく、 ń いることを確認することです。 命は父母や地球の生命によ 衣食住を通じてたくさん ます。 てい います。 この ŧ 他 目 に 事 覚 め お が つ 0

う。 す。 を発見し、 法事は普段忘れ 本当の 自分に出会う、 現実に反映させてい てい 、る自 法事をしまし 分 の . く も 本 当 の 0 で 姿

皆様からの募金、お賽銭をこのように使っ ています。ご協力ありがとうございます。

繰越 98,000円 入 20,000円 支 出 120,000円

内訳

20,000円 羽村市社会福祉協議会様 20,000円 あしなが東日本大震災遺児支援募金様 西東京臨済会災害支援部様 20.000円 らいむぎハウス(リアルてらこや)様 あきしまウクライナ友好協会様 20 000円

繰越 18,000円 十五日日

士二日

三回忌

令和三年御逝去

長谷川ヨシ

年忌にあたる 御霊位

お寺にご相談苦下さい。真心を形に表すことがご供養に繋がります。で供養はご自宅、墓前、塔婆のみの墓参でも可能ですので、まずはや会食の制限は設けませんので、どのような形のご法要にも対応致しまらっしゃるのではないかと思います。宗禅寺では、お寺のほうから人数コロナ感染の急拡大もあり、どのようにご法要を行うかお悩みの方もいコロナ感染の急拡大もあり、どのようにご法要を行うかお悩みの方もい

周忌 年忌霊位 令和四年御逝去 (本年十月~来年一月まで)

御命日

故人御芳名(敬称略)

久保田みどり

二二日日 五日

小池 信光 中根 ヨシ 川村禮以子 沈春子 鶴岡ヨシ子 和重

令和四年

三日

十月 十月 二十六日 二十六日
 二十十十十

 月月月月月

 二十十十

 二十十

 二十十

 百十

 1

 1

 1

 1

 1

 1

 1

 2

 2

 3

 4

 4

 5

 6

 7

 8

 9

 9

 1

 1

 1

 1

 2

 2

 2

 3

 4

 4

 5

 6

 6

 7

 8

 8

 9

 9

 1

 1

 1

 2

 2

 2

 3

 4

 4

 4

 4

 5

 6

 6

 七回忌 平成二

佐々木敏郎

岡村マスエ

十二月 十二月 十四日 十二月 十四日

士言

令和五年

十 日 年で逝去 小宮山琴枝 大竹 峰人 星野 正之 島田 中野シゲヱ 鈴木 寛 雨倉多賀子 池田トキ子 長谷川和子 富夫

平成二十年

十二月二十六日

一 一 一 月 月 月

二十九日 二十八日 下田 山﨑規矩一 富雄え 正之

平成二十四年

十二月二十九日

佐野 正順

柳澤久留美 島田君江 及川真紀子

十七回忌 平成 十十月月 二十三日 二十三日 一月 二十八日 三十日 十六日 九年御逝去 雨倉 一郎 西山 和夫 島島田田 岡野八重子 斎藤 テル

守子 宏子

成十三年ご逝去

月月月

十一月月

十三回忌平成 一十五日 三十一日 一十三年ご逝去

平成三十年

十一月 十二月 十七日 十七日
 十月
 二十八日

 十月
 二十八日

 三十一日
 1
 黒阪 とく 秋山マサ子 荒井フミ子 篠崎アサノ 中野由美子

十十一月月

十<u>月</u>干五日 士二月三十一日 十二月二十五日 三十日

桜沢 タカ 柿田 直美 三上勝四郎 梅津 星那 吉野可南子

平成十四年 |十七回忌 平成九年ご逝去 十二月二十五日

大塚ヨシ子 青木 二郎 島田 泰一 衡誠ハ志鍾

二十三回忌 平成三年ご逝去 十月 二十五日 T一月二十八日 二十三日 新井酒造藏

平成四年 毎朝、ご命日の方に読経しています 四日 小林 カヤ 峯岸 恩島田田 島田 康夫

十二月

文庫長だより島田秀男

川崎は、職人の村だった。

工業などで生きる者もでてきました。暮らしは、農業ばかりではなく、商業や手材に商品・貨幣経済が浸透し、村人たちのた。もちろん漁業や林業などの場合もありた。中ではとっては、農業こそが本業でして

えます。 農業の合間に行う生業のことを農間余 農業の合間に行う生業のことを構えたり道具を購入したりして積極的に行う場り道具を購入したりして積極的に行う場別では生活の手助け程度から、店を構えた ともあり、余業というより「兼業農家」といいますが、その業にのうかんよぎょう)といいますが、その 農業の合間に行う生業のことを農間余

いたことがわかります。 七軒が商業や職人渡世をしている村人が渡世書上帳』から、戸数一一七軒のうち、三変世書上帳」から、戸数一一七軒のうち、三

天保一一年(一八四〇)の『諸職人人数取天保一一年(一八四〇)の『諸職人人数取天保一一年(一八四〇)の『諸職人人数取天保一一年(一八四〇)の『諸職人人数取天保一一年(一八四〇)の『諸職人人数取天保一一年(一八四〇)の『諸職人人数取天保一一年(一八四〇)の『諸職人人数取

さとう・醤油・酢そして酒でした。 は、粉・こんにゃく・豚肉・油揚げ・豆腐・り、一人三〇銭の会費を集めました。支出川崎下が組当番で、二九名の参加者があたという記録が一番古い文書です。当日はた四二年(一九〇九) 三月に太子講を行っ治四二年(一九〇九) 三月に太子講を行っ

組織が存在していた可能性があります。
下保一〇年代には、すでに太子講のようなの上限を取り決める請書であることから、請書』は組合の議定として諸職人の手間賃請書」は組合の議定として諸職人の手間賃

すことが多くなりました。
たようですが、後半になると新井酒屋で催いました。会場は、個人宅の持ち回りだっ太子の命日である二二日前後に行われて太子講は、毎年二月と九月の二回、聖徳

川崎会館前の道路を隔てた向かい側、以川崎会館前の道路を隔てた向かい側、以川崎会館前の道路を隔した。大正一四年(一九二五)一○月には、太子堂を建立二八日付の『宝入船帳』には、太子堂を建立二八日付の『宝入船帳』には、太子堂が建っ

薬師講中 川崎村宗禅寺謹」と書かれ、裏面には「大正十四年十二月二十八日鎮座があり、表面には「本体奉修聖徳太子尊」。 どの玉石の土台の上に鉄の扉がついた厨どの玉石の土台の上に鉄の扉がついた厨との玉石の土台の上に鉄の扉がついた厨

た。 木像は薬師講中から寄贈されたもので

祀られています。 太子像とやしろは現在も薬師堂内右側にために太子堂は壊されてしまいましたが、昭和二八年(一九五三)、道路拡張工事の

互助組合的な機能も持っていました。 太子講の人たちを中心に、大正八年(一九一九) 一○月、「西多摩村川崎百事職工九一九) 一○月、「西多摩村川崎百事職工九一九) 一○月、「西多摩村川崎百事職工力」 一○月、「西多摩村川崎百事職工力」 一○月、「西多摩村川崎百事職工力」 一○月、「西多摩村川崎百事職工力」 一○月、「西多摩村川崎百事職工力」 一○月、「西多摩村川崎百事職工力」 一○月、「西多摩村川崎百事職工力」 一〇月、「西多摩村川崎百事職工力」 一〇月、「西多摩村川崎百事職工力」 一〇月、「西多摩村川崎百事職工力」 「一大正八年(一大正八年(一大正八年)

が、日待の内容には変化はありません。「百事職工会日待帳」と表題が変わりますいます。昭和三年(一九二八)三月からは行われ、「太子講日待帳」として記録されての太子講では、以前と同様な内容で日待がの太子講では、以前と同様な内容で日待がしかし、翌年の大正九年(一九二〇)二月

いませんでした。
職工会で申合せたような活動は実施して使われていましたが、大正八年の川崎百事使われていましたが、大正八年の川崎百事をおれていましたが、大正八年の川崎百事な子講の活動が休止となる昭和三二年

二一九軒のうち一五軒で、和泉村(狛江市)くと、福生村の文政四年(一八二一)、戸数江戸時代の村における職人数をみてい

間余業の割合は、全体の約一割弱でした。 事していました。福生村・和泉村ともに農 の天保七年(一八三六)、戸数一五二軒のう 一三軒の百姓家が農業以外の生業に従

間余業に従事している百姓がいました。そ 村と比較すると特徴的であるとしていま \mathcal{O} >割合は三割をこえていて、 その高さは他 『かけて戸数一○九軒のうち三四軒で、農 鈴木新田(小平市)では、文政から天保期

かったといえます。 んでいましたから、 三割をこえる三七軒が何らかの稼ぎを営 川崎村は、文政一〇年で一一七軒のうち 農間余業の割合は高

《参考文献

『新狛江市史』『小平市史』『日本民俗大辞典』 『羽村の職人(『羽村市郷土博物館紀要第一〇号』)』

聖徳太子堂がそこにありました。 る予定がございます。 0) して、古の聖徳太子堂として再生させ 現在、お寺では、居酒屋の看板を外 今号の文庫長だよりの通り、 「看板がかかっている建物があります。 奥多摩街道の川崎会館前に居酒屋由美 かつて

様にお知らせすると共に、 る場所だったということを、 にお参りをしていただければ有り難い 古くからある川崎地域の手を合わせ 通りがかり 現代の皆

○水族館劇場、

今日が千秋楽。坐禅には十二人。

5

午前中に近所の人来て劇団のことで陳情。少

公演は満員御礼、無事に終了したホッと一息

寺門清風 正俊記

利を打造の日本の

しましょう。 墓掃除を忘れずに。ありがたく毎日を過ご 秋をむかえます。お彼岸です。お墓参りや 熱い夏に別れを告げ、 涼風のありがたい

○一のつく日は写経の日。七人。本堂では寺ヨ ○第一日曜日の朝粥坐禅会十人で。夕方は ○水族館劇場の公演に合わせて、 ○虎ノ門病院眼の検査。続いて中野で早稲 寺は坐禅で一杯 会をしています。今日は四人。土曜坐禅 ガ二十人の参加。皆さん元気 ら観劇 水族館劇場参加者の坐禅十四人。鎌倉か には十四人でした。皆さん熱心。 講座、淑子さんと共に。 田オープンカレッジで小川隆先生の禅 、湯沢・上江洲・中谷来山。この処 毎回 6 6 6 6 1坐禅 4 2 $_{1}^{\prime}$ / 3

しがっかり。

6

○水族館劇場の方に来ていただき、 休止を伝える。残念至極 公演の 6 / 7

○衣川賢次先生より「無字の歴史」の論稿届く。 有り難く拝受。学びは果てしなく続く。

○夕方四時より「寺子屋教室」 勉強会。七人で中 里介山大菩薩峠のこと。 田中板金屋根修理 14 / 12

○中野で小川先生の禅講 道歴博で、祥啓展拝観 |座拝聴。 横浜馬車 6 / 16

〇四時、寺総代会。中野・新井両氏、 ○駒沢大学で佐藤秀孝先生の講座 コアポコの会、禅センターで。 拝聴。ポ 退任 6 17 0

とを了解。終わって久し振りの夕食会。 久行・大野泰広氏を総代に選任するこ 修氏を総代長、 件。皆諒承する。新たに大野元雄・ 副総代長に。新たに雨倉 中 村

○水族館劇場、 ○新井政昭さん来寺。お寺の使い方。薬師 開催する決定 講役員会十二人。お薬師様のお祭り協議。 十五人。早稲田学報の取材で写真等。 劇場解体終了。皆で挨拶に見える 6 / 24 6 / 25 18

○水族館劇場坐禅十八人。赤坂から黒田知美・

明未母子、

福生山下夫妻も観劇に来て下さ

○谷保・南養寺老僧の津送 6 26

)虎ノ門病院。定期検査。異常なし。銀座和 光で井上萬二展。淑子と 6 / 27

○「鎌倉食の会」設立プランニング 「鎌倉の食を学ぶ会」試案完成。関係者に 6 / 28

水族館劇場公演は休止となりましたが、 ます。皆さんのおかげです。 き、元気よく諸事に取り組むことが出来 学ぶ会が始まりそうです。体調も落ち着 りがたい限りです。そして、鎌倉で食を 様々なことが実現しました。あ

七 月

○渡辺和尚長福寺へ弔問。和正と ○第一日曜朝粥坐禅会、十人。お盆の施餓 ○写経の会八人。木彫教室七人。土曜坐禅 ○十一時、 ら青梅、 話で話したばかり。 長福寺・渡辺宏之和尚、 鬼棚を皆で組み立て。内陣幕も。二本木、 法要が始まる。お盆に入る。 会十五人。一日の土曜は多用 福生、 青梅宗徳寺のお施餓鬼。これか 羽村の各寺院のお施餓鬼 急死。昨日朝、電 7/4 7/1 7 / 1 7/2

○十一時鎌倉食の会打ち合わせ。一

一時より

定期検査。異常ナシ。

鎌倉禅研究会(彭丹・鈴木佐先生)、尾崎

で十七人の夕食会。

〇十一時、

青梅宗建寺セガキ。虎

ノ門病院

○東禅寺お施餓鬼。

. 16

7 5

○一時林泉寺施餓鬼。禅林寺和尚様に送迎

○宗禅寺寺子屋教室「川崎の俳諧史、

をいろいろしていただく。

寿蒼のこと」島田秀男文庫長の素晴らし

○「リアルてらこや」大人・子供五十人。護持会 下さる。助かります。 寺ではヨガの会、たより発送作業もして 7/6

い論稿を皆で味わう。

7

/ 19

い。高齢化が心配。土曜講座十三人。 7/8 の方、お盆掃除。十五人で。これもありがた

○十一時青梅・玉泉寺施餓鬼。星野造園。 ○長福寺・渡辺和尚。通夜そして密葬。人 の命のはかなさを思う。 7 / 9 · 10

○鎌倉・松ヶ岡文庫、鈴木大拙忌法要。車 お盆の植木手入れ五人で。 新調したので。 内に帽子忘れ、 熱海駅までとりに行く。 7 / 12 7 11

○お盆の早朝坐禅会始まる。いつもの五、六人だ 〇十一時禅福寺、二時一峰院施餓鬼。 7/14 丁寧に大事に。十一時禅林寺施餓鬼。 7 / 13

○十一時長徳寺施餓鬼。宗禅寺十時総代・ でした。御先祖も安心 いの方、法要参加者の皆様、ご苦労さま わって片付け。客殿で打ち上げ。お手伝 紀さん禅呼吸の実演。二時 薬師講支度に来山。一時御詠歌、 施餓鬼。終 椎名由

6 / 28

○「大休正念語録」二年かかって読了。「 ○写経の会十人。健康体操の会十三人。皆 さん元気に取り組む。 堂集」に挑戦 21 祖

○西田幾多郎の「美の研究」読み始める。 倉天心の「茶の本」読了。 岡

○土曜坐禅会十一人。常連の方々、 ○東中野ポレポレ座で「沖縄戦の図」丸木 ○うどん教室。客殿裏庭除草依頼。 ○土曜坐禅会十三人。皆よく坐る。 物」を見る。映画で一息 夫妻の映画を、吉祥寺で是枝さんの「怪 7 7 きちっ 7 / 28 / 22 25

や夏休みスペシャル事前会議。九人で。 7 31

○ノ門病院、定期検査。異常ナシ。リアルてらこ

と坐って下さり、元気をもらう。

●私の体調も異状なく七月を乗り切りま 進んでいきましょう。 成果を示しています。寺がこんな形で使 倉でまた新活動が始まります。前向きに アルてらこや、寺子屋教室など、洋洋と 滞りなく、なめらかに進んでいます。リ した。坐禅会を始めとする諸会の活動も われていること、有り難い限りです。鎌

| 宗禅寺毎月の活動| | 一お寺で新たな自分の発見を一| | ●朝 粥 坐 禅会……毎月第一日曜日 朝6時~8時 坐禅後に禅の食事作法に則ってお粥をいただきす。新鮮な朝の空気を感じます。予約不要です。10/1 11/5 12/3 | ●土 曜 坐 禅会……毎週土曜日 子供:18時~19時 大人19時半~20時半 足にご不安の方には、イス坐禅もございます。予約不要です。 | ※10月7日は薬師如来大祭のためお休み。年末は12月16日が最後となります。| ※10月7日は薬師如来大祭のためお休み。年末は12月16日が最後となります。| ※10月7日は薬師如来大祭のためお休み。年末は12月16日が最後となります。| ※10月7日は薬師如来大祭のためお休み。年末は12月16日が最後となります。

- ●彼岸早朝坐禅会…… 彼岸中(9/20~9/26)毎朝6時~7時開催。鐘楼で鐘を撞きながら読経後、坐禅。
- ●± 座……毎月一回開催の公開講座。毎回13時~16時。地域文化と財産の再発見に。
- ●写 会……毎月1の日(1日、11日、21日)13時~15時般若心経写経。支度片付けは全員で。
- ●鎌 倉 流 御 詠 歌…… 毎月第1第3火曜日13時半~15時 仏教のココロを歌に乗せて 指導:高井淑子
- ●手打ちうどん教室…… 現在2クラス開講中。月一回。講師:島田辰夫先生
- ●いきいきヨガ……毎月第1第3木曜日10時~11時 予約不要¥500 要:大きめのバスタオル持参 講師:園部多恵子 https://www.instagram.com/tae.yoga/
- ●リアルてらこや…… 毎月第2土曜日午前中 主催:らいむぎハウス 問い合わせ:090-5542-6159(水野) 子供たちの学習支援と居場所づくり。学習指導は小学生から高校生まで対応可。
- 室……毎月第1第3土曜日 13時~16時 講師:新井達矢先生 見学可能 仏像や能面を彫ってみませんか? 月謝5.000円(道具、材料費は要別途) 新井達矢先生ブログhttps://ameblo.jp/tapazya-1982/
- 室……毎月1回適宜。問い合わせ:中野つたえ 042-554-2444 ○俳
- ○尺 八 吹 禅 の 会…… 毎月第1第3月曜日 19時半~21時頃 坐禅15分、練習60分 問い合わせ:坂井陵童 042-554-3273
- ○お寺deこころの相談…… タロットを使用した心理セラピーです ハムサまで 毎月第1日曜日13時~18時 要予約 090-6792-4784
- サ ロ ン…… 毎月第4土曜日13時~14時 新聞を使って自分の世界を楽しく広げましょう。 お子様のご参加大歓迎。要予約 鹿野川喜代美 042-554-7343 090-6549-0751
- 〇宗禅寺将棋愛好会 …… 毎月1回、お寺で将棋を一緒にやりましょう。次回9/10(日)13時半~16時半 (仮称) 途中出入自由。10月開催日未定。問い合わせ:新井政昭 090-3089-3011
- ▲介 護 予 防 体 操…… 健康体操をみんなで一緒に行います。9月から会場はみんなの家です。 毎週金曜日14時~16時
- ▲く れ よ ん の 会…… 子育て中のママさんの憩いの場。孤立しがちなママさんの日頃の悩みをみんなで聞いて くれます。毎月2回みんなの家で開催 9/5、9/29 13時~16時 主催:らいむぎハウス
- 寺子屋委員会・薬師講中・護持会・女性サンガの会 ──活動中です-
- ○禅センター・みんなの家 ご使用下さい □各会の会場:●宗禅寺 ○禅センター ▲みんなの家

土曜講座 のお知らせ

減少気味です。 ご参加下さい。お茶代三○○円です。 おかげさまで八十回を越えました。参加者が 地域文化を築く講座です。

▼第八十二回 九月十六日(土)十三時~十六時

・イス坐禅 講談「新平家物語から」 菊地玉雲 師 住職 高井正俊

・「川崎村・羽村市・西多摩の今を考える_ 羽村市市議会議員 秋山義徳さん

◆第八十三回 十月二十一日(土)十三時~十六時 イス坐禅 住職 高井正俊

講談「新平家物語から」 菊地玉雲 師

・「市議会議員になって私の取り組むこと」 羽村市市議会議員 野﨑和也さん

第八十四回 イス坐禅 十一月四日(土)十三時~十六時 住職 高井正俊

講談「新平家物語から」 五日市憲法起草者没後一四〇年を迎えて 菊地玉雲 師

-千葉卓三郎没後一四〇年記念祭―」 タクロンチーバ普及協会より

五日市憲法

第一部 第二部 「五日市憲法と千葉卓三郎の魅力」 「小説『反骨』の朗読」 琴葉さん について語り合う

◆第八十五回 十二月二十三日(土)十三時~十六時 高井正俊

・「食のことを少し」 イス坐禅 住職 池田希美子さん

・「小泉八雲のこと」

講談「雪女」 早稲田大学名誉教授 池田雅之先生 菊地玉雲 師

鎌 倉禅研究会のお知らせ

も予約なしで、直接参加できます。お気軽にお越 しください。 鎌倉建長寺で行っている勉強会です。どなたで

五〇〇円を納めて下さい。会場でお会いしましょ 建長寺入口で入山料五〇〇円、会場で資料代

◆第百八十九回

・「関東の室町文化_

・「茶の湯の成立と展開」 先生

◆第百九十回 十月二十六日(木)

・「一切経の受容と天源院」

宗源

・「金仙寺の一切経と秩父の文化」

十一月三十日(木) 川本 慎自 先生

・「天目山棲雲寺いろいろ」

◆第百九十一回

棲雲寺住職 青柳 真元

師

•「特論•蘭渓道隆」

花園大学教授 衣川 賢次 先生

▼第百九十二回 十二月十四日(木)

・「『大鑑清規』報告」

・「蘭渓道隆禅師の公案」 足利大学講師•福厳寺副住職 山名田紹山 師

禅居院住職

采澤 良晃

師

■聞こえ来る

■群れ咲きて

なお淋しげな

萩の花

・「建長寺の塔頭と薬」 福厳寺寺庭 采澤

妙華

さん

いずれも午後一時開始。午後四時半終了予定です。 ※鎌倉禅研究会、会場はいずれも建長寺。時間は

宗禅寺俳句会

歲時記俳句

■独り言 言ひても独り

なる夜長

■野のやうに 全く荒れて

庭の秋

中野

つたえ

九月十四日(木)

明星大学准教授 芳澤 元

■ 園庭の 子等と戯れ

赤蜻蛉

田村

章

■天気荒れ

出荷を急ぐ

梨農家

■蜩や昔を 探がす 母校跡 ■しみじみと 仰ぐ空かな

秋初め

京都造形芸術大学講師 橋本 先生

■草むしり

一夜に伸びて

追いつかず

■赤蜻蛉

遠い記憶を

連れてきし

東洋大学講師·広福寺副住職

東京大学史料編纂所准教授

■待ち時間 ■雲もまた 動きをはやめ 俳句と過ごす

■玄関に 龍胆を生け 静かなり

秋時雨

■陽をあびて 風に頷く 秋桜 島田 陽子

音も鳴りそな

■リンリンと 花桔梗

■スーパーの 並ぶ青果に 秋を知り 実

めくる枚数 秋燈下

■指で知る

戸梶 功

せせらぎの音 夜の秋

中野 良

宗禅寺ホームページ http://www.hamura-souzenji.com

夕餉の前の

ハイボール

みよ子

今朝の秋

平井

敏正